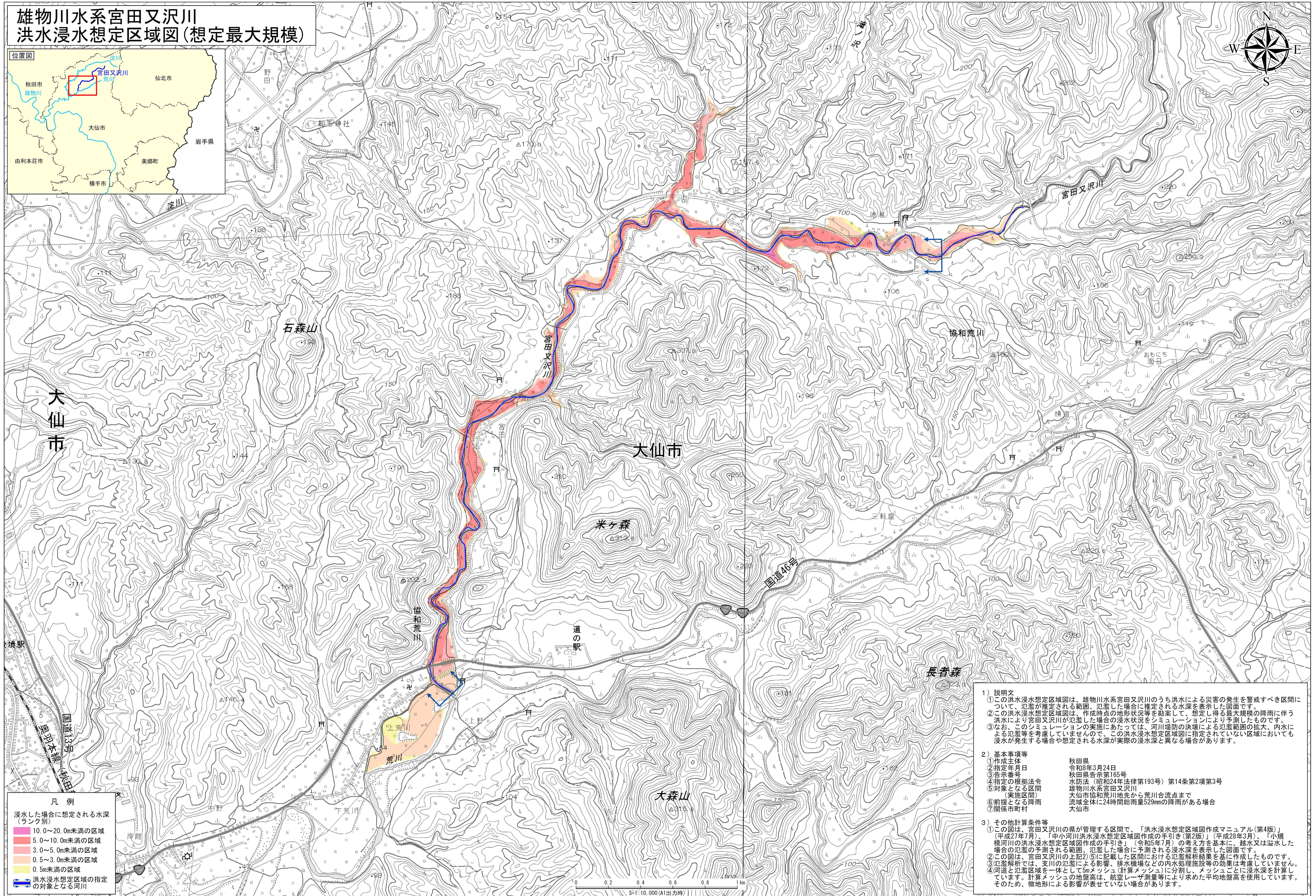


雄物川水系宮田又沢川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例

10.0~20.0m未満の区域
5.0~10.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域
0.5~3.0m未満の区域
0.5m未満の区域
洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川

1) 説明文
 ①この洪水浸水想定区域図は、雄物川水系宮田又沢川のうち洪水による災害の発生を警戒すべき区間について、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。
 ②この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により宮田又沢川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
 ③なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2) 基本事項等
 ①作成主体 秋田県
 ②指定年月日 令和8年3月24日
 ③告示番号 秋田県告示第165号
 ④指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号
 ⑤対象となる区間 雄物川水系宮田又沢川(実施区間)
 ⑥前提となる降雨 大仙市協和荒川地先から荒川合流点まで流域全体に24時間総雨量529mmの降雨がある場合
 ⑦関係市町村 大仙市

3) その他計算条件等
 ①この図は、宮田又沢川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)」(平成28年3月)、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き(令和5年7月)」の考え方を基本に、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示した図面です。
 ②この図は、宮田又沢川の上記2)⑤に記載した区間に沿った氾濫解析結果を基に作成したものです。
 ③氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。
 ④河道と氾濫区域を一体として5mメッシュ(計算メッシュ)に分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。そのため、微地形による影響が表せていない場合があります。

Scale: 1:10,000 (A1出力時)